

第6回東郷地域協議会会議録(要約)

日時 令和5年9月12日(火) PM 7:00 ~ 8:30
場所 新城市役所 4階会議室
出席者 委員 26名 事務局 3名

次第

- 1 あいさつ
 - 2 報告
(1) 令和5年度地域自治区予算事業の進捗状況について
 - 3 議事
(1) 令和6年度地域自治区予算事業案の決定について
 - 4 その他
-

1 あいさつ

2 報告

- (1) 令和5年度地域自治区予算事業の進捗状況について
 - ・多世代交流事業(東郷学び学校 2023・SUMMER)

3 議事

協議会の会議録署名

- ・定数 29 人のところ 26 人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

- (1) 令和6年度地域自治区予算事業案の決定について
(事務局説明)

- ・前回の地域協議会での意見に対しての市担当課の取り組みや意向を整理するとともに、実行団体の来年度予算要望などを報告した。
- ・令和6年度地域自治区予算事業の最終案及び地域協議会だより、建議書案について

その後、地域計画の5つの柱ごとにグループに分かれ、令和6年度地域自治区予算事業計画の最終調整を行った。討議終了後、各柱のリーダーから議論内容の発表があった。以下発表要旨。

柱1 暮らそう

- ・地域自治区予算ではなく、地域活動交付金を使って補助金を申請する流れとなっている。例えば、公民館で健康体操をやった後にお茶を出したいが、出すための器具を買ってお茶を出そうと思うと、参加者から徴収する会費が上がってしまって、参加者が減ってしまう現状がある。その課題を解決するために、地域協議会では団体になれないので、新たな団体を

暮らそうのメンバー中心に立ち上げたい。やりたいと手を挙げた行政区の団体さんに対して事業を実施したいと考えている。また、来年度そういう事業をやっていくと、チラシ代などの運営費について社協の方でも補助金があるので、そちらについても当団体でPRをしたいと考えている。また、事業でかかる光熱費については、公民館を使うのを前提としているので、区長さんには確認しながら進めていく。まだ地域活動交付金の申請書類等はできていないが、大体の事業構想は出来ている。新しい会は、暮らそうのリーダーの国本委員が会長になって作ろうということで話がまとまった。

◎主な意見

- 会 長 必要であれば、地域活動交付金を取りにいくということで、団体のメンバーを集めるのも費用的には不要ということでよろしいか。
- 委 員 基本的には、暮らそうのメンバーが入ってくれるので、このメンバーにプラスして、八束穂、須長、矢部が、前回の区長会の時に手を挙げてくれたので、その地区のメンバーを構成員に入れて進めていく。

柱2 守ろう

・今年度中に小中学校の保護者の方に交通安全に関するアンケートをお願いし、その結果を踏まえ、来年度の地域協議会に引き継ぎ事項として申し送るという方向。アンケートについては、ヘルメットだけに限らず、保護者に対して交通安全全般に関するアンケートを行い、安全に関する保護者のニーズや学校も含めて地域の意識を調べていきたい。ちなみに、愛知県内の小学校でいうと、54の自治体の内12の自治体でヘルメットを着用しているというのが現状となっている。さらに、今回の話し合いで新たに出てきたのが、スクールガードと青パトの状況が明確になっていないので、見直しする必要があるのではないかという声も出た。アンケートについては、ヘルメットに関する背景、安全面、そして全国及び愛知県の実施状況を踏まえた内容で実施していただきたい。少なくとも中学校の白いお椀型のヘルメットは改善させてあげたい。小学生では、自由化になっているそうだが、少なくとも安全面を重視して黄色だけは保持したいという意見も出ている。

柱3 育てよう

・関係人口創出促進事業と多世代交流事業は実行団体がいるので、内容を深めていただいて、継続的に実施してもらいたい。今年度話し合ってきた新しい事業を考えた中で来年度から動き出すように予算を取っていただいた、休耕地を考える会(仮称)を立ち上げるという流れでお願いしたい。ただ、中身がまだ全然白紙に近いような状態で、まずは東郷地域の休耕地の実態調査などをしていかなければいけない。そして、休耕地を持っている方がその土地を活用していきたいのか、そうでないのか。中には、お金を出してまでやりたくないという人もいだろうし、その辺のことをまず調査したりして、草刈をするということが目的になってはつまらないので、その会にプラスアルファのアイデアを出してもらい、草刈をしてそこで何を植えるのか、どう利用していくのかということまで考え、魅力ある地域になっていけばいいということ。例えば、市外の人にオーナーになってもらって、年に1回東郷に来てもらって交流人口を増やすなどの色々なアイデアが出たが、それも全て今後立ち上がる休耕地を考える会の方が考えていくことになる。例えば、企業の方に副業として草刈に来てもらった

りなど、そういうマッチングをしていくということなども含め、長野市の実際にもう立ち上がっているところを視察に行くという案を予算立てしていただいたので、来年度どうなっていくのか未知数であるが、魅力ある休耕地活用に繋がればいい。

◎主な意見

事務局 休耕地を活用する会のメンバーをどうしようという話だと思うが、チラシの予算もあるので、来年度早々に募集をかけることになるかと思う。ただし、チラシを配っただけでは絶対集まらないので、一本釣りみたいな形になると思う。あとは、育てようのメンバーの中から、できれば複数名、会を引っ張っていっていきような方が出ていただけるといいと思っている。あとは、地域協議会でも、例えば今年度で交代される方もいると思われるので、ぜひ会の方に入っていたきたい。

柱4 学ぼう

・予算としては前回ではほぼ決定している。歴史検定の初級編の増刷を今年度実施する。この間実行委員会があり決定事項となった。そして、今年度から中級編の検討に入り、来年度早々には中級編の問題集を作り、来年度中に、中級編の検定試験をやりたい。またそれが終わったら上級編に移り上級編の問題集を作って上級の検定試験を行うということで、令和7年度には上級編までいけるのではないかと、今設楽原歴史資料館の方が盛り上がってくれているので、スピードアップしていく雰囲気になっている。また、缶バッチだが、先日の初級検定試験は計26名の方が受験され、計25名が合格となった。早速缶バッチを作り始めたが、印刷の関係があり、まだ作り上げるところまでは出来ていないが、合格した皆さんに今月中に送付することになっている。あとは時間があつたので、東郷学び学校のスタッフとして地域協議会委員の皆さんにも協力いただいたのでその感想も聞いた。

◎主な意見

会長 ちなみに初級編は大多数の方が合格したということで、簡単過ぎたなど意見はあったのか。

委員 検定試験については、多分問題は難しかったが、一応合格ラインが60点だったということもあり、結構な合格率だった。問題集を買ってくださった方は、全員合格したらしいので、検定試験を受けられる方は問題集買ってください。

柱5 楽しもう

・議論については、前回の会議で完了しているため、楽しもうのメンバーについては他のグループに入り意見交換を行った。

◎主な意見

委員 ホームページ作成事業の中で、前に自立民営化していく話があり、予算を大きく取っていると思うが、この辺は現状どうなっているのかを説明していただきたい。

事務局 この4月から自立に向けたアドバイザーの方が東郷広報PR部に入ってくれていて、毎週会議や研修を行ってきた。広報PR部のメンバーは収益を上げられる記

事を書き方のノウハウを身に付けた。あとは記事を量産していただくというフェーズに入っている。東郷のホームページはこれからちょっと変わっていく。収益化を実現していくためには、東郷の人口だけで稼ぐのは難しいので、エリアを愛知県や東海地方などに広げていく必要がある。方針としては、まずは愛知県の情報を東郷のホームページでPRしていく記事を書いていく。そうすると東郷のホームページを見てくれる人がどんどん増えていく。見てくれる人が増えると、広告料が稼げるようになるという仕組み。ただ、これは東郷のホームページなので、当然東郷地域に還元できるようにはしていくつもりである。来月あたりに東郷のホームページに例えば名古屋市や蒲郡市の観光情報が掲載されていく予定であり、これはつまり、今後稼いでいくための土台となる記事が載ってくることになるので、そういったところもご了承いただきたい。このような形で来年度も引き続き予算を取っているので、今年度と来年度の2年くらいかけて、自立していくような準備がついに始まったということで理解をお願いしたい。

委員 今の話の中にもあったように、だんだんこれでホームページも変わってくるということで、出来れば委員の皆さんも出来るだけ、ホームページにってもらい、どのように変わっていくかを見ていただきたい。そうすれば、こういうふうに変っていく、このように頑張っているということが見えてくると思うので、長い目を見て、母親のようにではないが皆さんで育てている段階なので、よろしくをお願いしたい。

【決定事項】

- ・令和6年度地域自治区予算事業計画案は原案のとおり決定となった。

4 その他

(1) 市長との地域意見交換会について

- ・テーマについて決定した。(旧新城東高校跡地について・休耕地の活用について)
- ・司会は地域協議会赤川会長となった。
- ・上記テーマ以外の内容について質問したことがあれば事前に事務局まで伝えていただきたい。

◎主な意見

委員 地域意見交換会での発言については地元の人が優先ということだが、地元以外の人出席を拒否することは出来ないのでは、座る場所を規制し、地域以外の人には左の端に座ってもらうとか、そうすれば司会者も分かるので指名するときに楽なのではないか。

【20:30 終了】